

第5回「つくば3Eフォーラム委員会」バイオマスタスクフォース会合の報告（速報版）

日時：2010年9月3日（金）13：30-17:00

場所：筑波大学 総合研究棟 A111号室

出席者：井上、渡邊、藤野、岡本、桜井、石川、稲川、蓬田、富田、遠藤、柚山（11名）

議題：

- 1) 第4回TF会合（バイオマスWS、2010年8月4日）の振り返り
- 2) 筑波大等が実施しているJSTプロジェクトの見学
- 3) 第4回TF（8/4に実施のWS）を受けての社会実験の仕組み方の検討
- 4) つくば3Eの中でのバイオマス利活用のロードマップ作成の検討
- 5) その他
 - ・緑の分権改革推進事業について（第1回会合：8/27）
 - ・関東バイオマス資源活用促進協議会について（第1回会合：8/6）
 - ・実験タウンDワーキンググループについて（第1回会合：8/25）
 - ・12月の第4回フォーラムと藻類国際会議について（12/12-14）
 - ・ワークショップ「バイオマスタウン設計・評価支援ツールの開発」（10/27-29）について
 - ・夢追いサロンつくばでの講演について（9/23）

会合の内容：

議題1) では、当日の写真集を見ながら公開で行ったワークショップを総括した。3Eカフェの貢献によりよい雰囲気での議論ができた。今後、出された提案を施策に持って行くことが肝心である。市民が活動で達成感を得られ、本当の行政と市民の協働になるように進めていく。

議題2) では、渡邊教授の引率により、筑波大学の研究現場を見学した。課題はあるものの、研究設備が整いつつあることを実感した。これにより、藻類バイオマス利用の社会実験のイメージを理解した。

議題3) では、第4回会合に引き続き、藻類バイオマス利用の社会実験を行うためのチェックポイントの整理を進めた。技術的観点での研究開発目標が提示された。最先端技術の適用であるので、8/4のテーマとした他の4つに比べると市民参加は難しいが、生成物を市民に試用いただくという形がとれるのではというアイデアが出た。さらに検討を加え、タスクフォース参加機関及び他機関からも協力をいただけるようにする。

議題4) は、討議の時間がとれなかった。つくば市の温室効果ガス排出量の約5%の削減への貢献を目指したロードマップを第4回フォーラムで発表できるように準備することにした。

議題5) は、バイオマスタスクフォースに関係する会合等の情報を共有した。藤野委員からは、「環境儀36、国立環境研究所の研究情報誌、2010.4」が提供された。バイオマスタスクフォースの本年度の直接会っての会合は最終とする。以後は、メールで意見を出し合ったり個別に打ち合わせを行ったりして、成果を冊子にまとめていく。つくば市からの要請があれば協力する。できるだけ、12月のフォーラムや会合に参加する。

（柚山 記）